

初雪も降り、あと少しで白銀の世界となる札幌ですが皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は北海道の空の玄関口千歳市にある道の駅『サーモンパーク千歳』に寄ってきました。ほかの地域の道の駅と同じく、地元の新鮮な農産物直売所やベーカリー、スイーツ、レストラン、フードコートもあり、美味しそうなものばかりで目移りしてしまいます。

奥の物販・土産コーナーに何やら人だかりができており、私も吸い寄せられるようにその場所へ。こちらでは試食や試飲ができる商品がたくさんあり、せっかくなので物は試しにすべての商品をテイasting。その中でも気になった商品が、その名も『いくら醤油』という調味料。最初は売り子さんの謳い文句に半信半疑でしたが、試食のご飯の上にさささと掛けてもらっていざ実食。これがイクラ掛けご飯そのままの味で、試食後すぐに商品を手に取り購入しました。

今年は秋サケ漁も不漁でイクラも高騰しているので、この『いくら醤油』を使っておにぎりや鮭イクラ丼を楽しみたいと思います。

札幌営業所(所長:清水 壮次郎)

KOYORAD

世界の拠点から
- From the base in the world -



長い夏がようやく終わり、やっと秋が来ましたね。昔は短い夏があったと言う間に終わったと切なくなったものですが、今は猛暑がどこまで続くと言う感じでしたのでやれやれと言う感覚。秋は短そうですね。

さて、食欲の秋という事で愛知県の特産のおやつ『えびせん』を製造直売するえびせんべいの里美浜本店に行ってきました。ここは知多半島南部にあり、ドライブにもピッタリ。大きな駐車場には観光バスの駐車スペースもあり、定番観光地となっております。店内に入るとワゴンに積まれた海老せんが大量にあります。種類も20種類くらいあり、定番の物からわさび味、チーズ味、ガーリック味からキャラメル味まで。奥にある工場で見学や出来立てを試食する事もできます。

その場にいとあれもこれもと購入してしまいますが、食べ過ぎには気を付けましょうね。



中日本営業所(部長:藤谷 弘行)

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は千葉県にある、国立歴史民俗博物館を紹介いたします。

略称で『歴博』と呼ばれるこの博物館は、延べ床面積38,091㎡で、千葉県佐倉市の佐倉城址の一角にあり、1983年3月から一般公開されています。日本の歴史、民俗学、考古学を総合的に研究・展示する歴史博物館です。古文書、絵図などの歴史資料、考古資料、民俗資料など約9,000点を常設展示しており、ほか約22万点の資料などを所蔵しています。

先史・古代の第1展示室から現代の第6展示室まであり、第1展示室から順に見学し始めました。展示物も非常に多く、数時間レベルでは見学しきれないぐらいの広さ・展示量となっていました(私も数時間で見学できると考えていましたが、無理でした…)。

半日から1日かけてじっくり見学するか、数回に分けて見学することをお勧めします(私も見学しきれなかったので、出直す予定です…)。

皆様も日本の歴史を、改めて見直す意味で訪れてみてはいかがでしょうか。

今回は岡山城(別名:鳥城)をご紹介します。

天守閣の外壁が黒漆塗りで、威厳ある佇まいは力強く、迫力満点で美しくカッコいいです。令和の大改修を終え、さらに黒く輝きを増したようです。また、天守閣までの階段を登り切った達成感、そして最上階からみえる後楽園の眺めは最高でリフレッシュできました。

お城から醸し出される不屈の精神と、リニューアルされ生まれ変わった姿は間違いなく活力を与えてもらえました。是非、お城散策に元気ある岡山城に行かれてみてはいかがでしょうか。

東日本営業本部(部長:高橋 鉄夫)

西日本営業所(部長:木下 敦裕)

年末まで後1か月間ですが、毎年のように年末の連休で子供たち、孫たちと一緒にどこかへ一緒に旅行に行って、久しぶりの家族メンバーたちでの集まりを予定しています。

今回は車3台で、2時間半ぐらい離れた少し涼しい場所、バンドンへ行く予定です。先週ホテルを予約した時には、ほとんどのホテルは満室でなかなか予約することが難しく、2時間程ずっとインターネットで検索してやっと見つかりました。

自分が住んでいるジャカルタは一年中暑くて、もちろん夏も暑くて、雨期の時もまだ暑く感じています。そのため、連休に旅行する時は涼しいところが多いです。涼しくて美味しい料理もたくさんあるところが一番人気の旅行の目的地、バンドンはちょうどその条件を満たしています。さらにバンドンはファクトリーアウトレットが多くあります。涼しく料理も美味しい、さらに服などの買い物もしやすい、やはりバンドンは一番人気です。そのため、連休の時もすごい行列ができる予約のとれないレストランに行きたい場合、先着順でしか入ることができません。

後1か月ですが、子供たちも孫たちも楽しみにしている旅行です。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

～国家的重大事?～

中国では今、肥満の問題が深刻化してきています。私も中国生活が通算で14年を超えますが、確かに以前に比べても近所でぽっちゃりした小さなお子さんを多く見かけるようになりました。

統計でも都市部を中心に児童の肥満率が上昇してきているようです。背景には、ピザやハンバーガーなど子供が大好きなファストフードの普及や外食中心の食生活、そして運動不足があると考えられています。中国のファストフード市場は2025年には約37兆円規模に達する見込みで、街中にもおなじみのチェーン店があふれています。

人民日報のニュースサイト『人民網』にも、体重管理は個人の問題を越えた『国家的重大事』だとする論評が掲載されたほどです。学校レベルでは、体育の授業回数を増やすなどの動きも見られます。肥満児の問題は勉強が忙しすぎて運動する暇がないという深刻な事情もあるようです。

一方で健康志向も確実に高まっており、ダンススタジオやフィットネスジムが市内のあちこちにオープンしています。私も普段の食事はつい外食やお手軽な出前に頼りがちですが、近所のジムでときどき汗を流し、運動不足解消に努めています。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

～とにかくボリューム満点！アメリカの『食』の世界へ！～

今日は、アメリカのレストランで感じた『ボリューム』についてお話ししたいと思います。そう、アメリカといえば何といっても『量がすごい！』。どの料理も、日本の感覚で頼むとつい笑ってしまうほどの大きさなんです。

先日、ラスベガスで開催されたAAPEX 2025に行ってきました。今年は日本からも2名が参加し、アメリカのスケールの大きさを肌で感じられたのではないのでしょうか。改造車の迫力、会場の広さ、そして…忘れてはいけなのがやはり『食べ物のボリューム』です！(笑)

たとえばホットドッグ。普通ならソーセージ1本のところ、なぜか1本半

入っているというアメリカらしい豪快さ！さらに、最後のディナーで登場したのは『チキン&ワッフル』。ワッフルにシロップをかけるのはもちろんですが、チキンにもたっぷりシロップをかけて食べるのがアメリカ流。最初は驚きつつも、日本のメンバーも『美味しい！』と笑顔でチャレンジしていました。しかもサイドには、口直し用のスイカが添えられていて、なんだか不思議だけどクセになる組み合わせ。

もし皆さんがアメリカに行く機会があれば、ぜひ一度チキン&ワッフルを試してみてください！ボリュームも味も、まさに『アメリカン』な体験ができますよ。

KCS(アメリカ)(GM:Ayano Donnelly)

ジョホールバルはマレーシアで2番目に大きな都市で、シンガポールとの国境にあります。そのため、ジョホールバルの経済成長はシンガポールが大きく影響しています。

例えば、ジョホールに住み、シンガポールで働いている人や、休暇中に食料品の買い物や食事のためにジョホールを訪れるシンガポール人が多くいます。つまり、ジョホールの経済はシンガポールの存在によって成長できるのです。

今まで入国審査場の渋滞が激しく、ジョホールに行くのをためらっていました。何時間も渋滞に巻き込まれることもありました。最近、友人と公共バスを使ってジョホールに行きました。市内中心部からバスに乗り、4S\$を払って国境まで行きましたが、停車なしで到着しました。バスでも国境には専用レーンがあるので、渋滞に巻き込まれることはありません。交通は全体的にとってもスムーズですが、それはピーク時以外に限られます。それ以外では、バスに乗るために多くの人が長い列に並んでいると聞きました。

ジョホールに行くにはこんなに大変なことがあります。それでも多くの人が行きたがります。私にとっては、たまになら大丈夫なくらいです。そうでなければ、悪夢になりかねません。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

オランダでは、今年の初めに前政権が崩壊した後、2025年10月29日に総選挙が実施されました。多くの人々は、生活費の高騰、住宅不足、移民問題をめぐる議論といった問題に不満を抱いていました。

選挙戦中、複数の政党が政権を争いました。主要なライバル政党は、ロブ・イエッテン率いる中道政党の民主66(D66)と、ヘルト・ウィルダース率いる極右政党の自由党(PVV)でした。その他の主要政党には、自由保守派の自由民主国民党(VVD)、キリスト教民主アピール(CDA)、GROENLINKS・労働同盟(GL/PvdA)などがありました。

開票結果は非常に僅差でした。D66とPVVは、全150議席のうちそれぞれ26議席を獲得しました。VVDは約22議席を獲得し、GL/PvdAとCDAはそれぞれ18～20議席を獲得しました。どの政党も単独で政権を担うのに十分な議席を確保しておらず、連立政権が必要となっています。ほとんどの政党は極右政党PVVとは協力しないと表明しています。つまり、D66が新政権樹立に向けた最初の協議を主導する見込みです。

ロブ・イエッテン氏は、手頃な価格の住宅、グリーンエネルギー、そして安定した財政に重点を置く中道派の連立政権の構築を望んでいます。連立政権の樹立には数週間から数ヶ月かかる場合があります。新政権が発足するまでは、旧内閣が暫定政権としての役割を担います。最大の問題は、VVDがGL/PvdAとは異なる政策を掲げ、協力を望まない状況下で連立政権を樹立できるかどうかです。オランダの有権者は今、どのような指導者が国の未来を導くのかを見守っています。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)